

市議会だより



フライングディスク



ターゲットバードゴルフ



FC東京キックターゲット



ボッチャ

スポーツの秋を満喫！(第33回市民スポーツまつり)

令和4年9月定例会は、9月6日から30日まで25日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度一般会計補正予算(第4号)など21件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、上司の指示のない所定外労働の防止や公務災害補償の周知など、会計年度任用職員の労働環境の改善を求める決議を可決し、1件を否決、1件を閉会中の継続審査としました。また、請願は3件を採択しました。

なお、市長提出議案の令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)及び国民健康保険条例の一部を改正する条例は、撤回されました。

また、9月7日から3日間にわたり、25人の議員から58件の一般質問がありました。

定例会最終日に提出された令和3年度各会計歳入歳出決算及び下水道事業会計決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

9月定例会

令和4年度 一般会計補正予算(第4号) などを可決

—令和3年度決算審査のための特別委員会を設置—

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

- 10月30日(日) 市民と議会の意見交換会(※1)
- 10月31日(月) まちづくり調査特別委員会(※2)
- 11月 2日(水) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
- 11月 6日(日) 市民と議会の意見交換会(※1)
- 11月 8日(火) 総務委員会
- 11月 9日(水) 生活文教委員会
- 11月10日(木) 厚生委員会
- 11月11日(金) 環境建設委員会
- 11月12日(土) 市民と議会の意見交換会(※1)
- 11月15日(火) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※3)

- 11月18日(金) 幹事長会議(※4)
- 11月24日(木) 議会運営委員会(※4)
- 11月29日(火) 12月定例会本会議(初日)
- 11月30日(水) 12月定例会本会議(一般質問)
- 12月 1日(木) 12月定例会本会議(一般質問)
- 12月 2日(金) 12月定例会本会議(一般質問)
- 12月 6日(火) 総務委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※5)
- 12月 7日(水) 生活文教委員会
- 12月 8日(木) 厚生委員会
- 12月 9日(金) 環境建設委員会
- 12月12日(月) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会

- 12月13日(火) 広聴広報特別委員会
 - 12月14日(水) 幹事長会議(※4)
 - 12月15日(木) 議会運営委員会(※4)
 - 12月20日(火) 12月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※4)
 - 1月17日(火) 広聴広報特別委員会
 - 1月18日(水) スマートシティ小平推進調査特別委員会
 - 1月19日(木) まちづくり調査特別委員会
- (※1) 詳細は、8面をご覧ください。
(※2) 当日は現地視察を予定しており、委員会室での調査はありません。
(※3) 12月定例会初日上程の受付期限です。
(※4) 開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。
(※5) 12月定例会最終日上程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

主な議案

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

本補正予算は、令和3年度の決算を基に、繰越金や返還金等の整理に伴い確保される財源を...

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

本補正予算は、エネルギー、食料品等の価格高騰を踏まえた国の予備措置等に対応し、市として速やかに着手する必要があります...

高校生等の医療費の助成に関する条例

高校生等に係る医療費の一部助成により、高校生等の保健の向上と健全な育成を図り、子育て支援に資することを目的とし...

教育委員会教育長の任命

任期満了に伴う教育委員会教育長の任命について同意を求め...

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について...

仲町公民館で始業前に会計年度任用職員が上司の指示のない所定外労働の防止や公務災害補償の周知など、会計年度任用職員の労働環境の改善を求める決議

仲町公民館で始業前に会計年度任用職員が上司の指示のない所定外労働を行っていたことが...

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

決 議
決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

議案等に対する各議員の賛否

9月定例会

注1 会派名略称 政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 一人：一人会派の会(3) ()内は各会派の議員数 生ネ：生活者ネットワーク(2) 市民：まちづくり市民こだいら(1...無会派)

Table with columns for district, item number, item name, decision result, and individual member votes (賛成/反対) for various proposals.

○：賛成 ×：反対 ※ 議長は表決に加わりません。注1 市長提出議案第25号 教育委員会教育長の任命同意をを求める議案については、無記名投票による採決の結果、同意しました。

Table showing the results of the full assembly decision for various proposals, including item numbers, names, and final decision results.

令和3年度決算特別委員会を 設置

(市長提案の説明要旨)

令和3年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月11日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額8百30億1千8百61万7千円、歳出総額7百67億6百68万1千円、実質収支63億1千93万6千円となりました。

歳入では、法人市民税は増となりましたが、個人市民税や固定資産税が減となり、2年連続で前年度を下回りました。

歳出では、様々なコロナ禍への対応について迅速な取組に努めたほか、第四次長期総合計画に沿った事業として、保育園の待機児童対策、学童クラブの新設、市立学校体育館への冷暖房設備導入に向けた基金の設置、児童発達支援センター開設に向けた福祉センターの改修等、地域包括支援センターによる認知症支援体制の充実、公園のトイレの洋式化や公共施設の照明LED化などを実施しました。

市税収入が2年連続して前年度を下回るとともに、新型コロナウイルス感染症の先行きがいまだ見通せない中、物価の高騰

による影響も続いており、引き続き厳しい財政運営が続いてい

ます。このような状況の中で市民の暮らしを支え、真に必要とされる事業を進めるために、今後も持続可能な財政運営の確保に努めていきます。

【国民健康保険特別会計】

歳入総額百77億7千9百79万3千円、歳出総額百74億16万8千円、実質収支は3億7千9百62万5千円となりました。

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数が減少する一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの反動により、1人当たりの医療費は増加しています。

歳入では、徴収率の向上もあり、国民健康保険税が前年度に比べ3千9百93万円、1・1%の増、一般会計繰入金金は18億7千5百万円を繰り入れられました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ8億6千2百72万8千円、8・2%の増となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額4億4千7百52万1千円、歳出総額4億3百59万9千円、実質収支は4千3百93万1千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ1千8百16万4千円、0・8%の増となりました。

歳出では、療養給付費負担金の減などにより広域連合納付金が前年度に比べ2千63万4千円、0・5%の減となりました。

なお、後期高齢者医療制度の対象者は2万3千8百84人となり、前年度に比べ193人、0・8%の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百52億4千3百61万6千円、歳出総額百48億6百11

万3千円、実質収支は4億3千7百50万3千円となりました。歳入では、介護保険料の改定等による保険料の増などにより前年度に比べ6・3%の増となりました。

歳出では、要介護等認定者数の増等に伴う保険給付費の増により前年度に比べ6・5%の増となりました。

第1号被保険者数は4万6千47人、要介護、要支援の認定者数は9千7百8人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業会計】

収益的収入は42億1千78万3千円、収益的支出は36億8千3百25万4千円となりました。資本的収入は6億3千9百9万、資本的支出は14億3千7百18万円となりました。

第二次下水道プランに基づき、重点施策となる浸水対策、下水道施設の老朽化対策などを中心とした事業を実施しました。地震対策では、重要な管路の耐震化設計を実施しました。

【一般会計決算特別委員会】

- 委員長 〇 鈴木 洋一
- 〇 きせ恵美子
- 〇 岡田しんじ
- 〇 川里 富美
- 〇 さとう悦子
- 〇 佐藤 徹
- 〇 津本 裕子
- 〇 橋本 孝二
- 〇 橋本 久雄
- 〇 細谷 正
- 〇 山田 大輔
- 〇 幸田 昌之
- 〇 吉本ゆうすけ
- 〇 蛇川 浩
- 〇 伊藤 央
- 〇 鈴木だい
- 〇 外山まなみ
- 〇 比留間洋一
- 〇 福室 英俊
- 〇 水口かずえ
- 〇 安竹 洋平
- 〇 山浦まゆみ
- 〇 山岸真知子

政務活動費収支報告

令和3年度の政務活動費について、収支を報告します。

政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円を乗じた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和3年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目	説明	会派名・人数(令和4年3月31日現在)							合計
		政和会 7人※1	市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 4人※2	日本共産党 小平市議団 3人	生活者 ネットワーク 3人	一人会派の会 3人※3	まちづくり 市民こだいら 1人	
交付決定額(A)		2,460,000	2,160,000	1,410,000	1,080,000	1,080,000	1,140,000	360,000	9,690,000
支出	調査研究費	98,590	0	42,504	0	64,680	32,796	2,212	240,782
	研修費	0	0	0	6,100	36,840	68,180	0	111,120
	広報費	1,794,821	186,208	802,015	889,982	652,000	0	172,892	4,497,918
	広聴費	0	0	0	215,820	0	0	0	215,820
	要請及び陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	1,980	128,096	44,551	2,947	10,995	13,511	355,800	557,880
	資料購入費	64,680	103,120	98,280	62,254	97,940	161,225	6,692	594,191
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)		1,960,071	417,424	987,350	1,177,103	862,455	275,712	537,596	6,217,711
返還額(A-B)		499,929	1,742,576	422,650	0	217,545	864,288	0	3,746,988

- ※1 令和3年4月に議員2人が加入しました(当初人数は5人)。これにより、当初交付額1,800,000円から660,000円が増額となりました。
- ※2 令和3年4月に議員1人が加入しました(当初人数は3人)。これにより、当初交付額1,080,000円から330,000円が増額となりました。また、令和3年5月に議員1人が退職し、議員1人が加入しました。これによる交付額の変更はありません。
- ※3 令和3年5月に議員1人が離脱しました(当初人数は4人)。これにより、当初交付額1,440,000円から300,000円が減額となりました。

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。詳しくは小平市議会のホームページをご覧ください。

市政を問う 一般質問 要旨

一般質問とは
議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

QRコードについて
お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。
* 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
* 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



市長の口利きが明らかになった今
議員の口利きの記録・公表を
伊藤 央議員
(一人会派の会)

議員による不当な圧力を排するため、口利きの記録、公表を

質問 ①市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会の調査で、部長が会派控室に呼び出され、行ってみると事業者がいたことがあったと明らかにされた。ほかにも議員が事業者を市役所に連れて来ている等の情報を得ている。これらは事実か。
②議員が市職員に対して政党機関紙や新聞等の購読を働きかけることは、パワーハラスメントに該当すると思えるが見解は。
③公正、公平な市政の実現等のため、議員の口利きや問合せなどを記録し公表すべきでは。



市長 ①後押しなどの具体的な事実としては捉えていないが、議員が市民、各種団体、事業者と一緒に相談に来ることはある。
②優越的関係を背景に相当な範囲を超える行為は該当する可能性はあるが、小平市議会議員においてそのような行為はない。
③一定の公職にある者からの問合せ等を記録し、公表することは市政の透明性向上等につながるが、議員からの問合せ等のみをもって一律に記録し、公表することは考えていない。
【掲載分以外の質問項目】
○旧統一教会関連団体が関わる行事に市が後援名義を使用させたことについて



小平第三小学校周辺の交通安全対策を早期に実施すべき
ヤングケアラー支援の推進
橋本孝二議員
(市議会公明党)

質問 ①小平第三小学校校門前から回田町178番地付近までの五日市街道北側の拡幅工事を、早期に推進すべきだが見解は。
②小桜橋付近、小平三小前信号機付近で自転車と歩行者等が接触しそうなケースがあるが、注意喚起看板設置等が必要では。

質問 ①ヤングケアラーの積極的な周知等を推進すべきでは。
②ヤングケアラーのいる世帯に対しては年齢制限をしない家事訪問事業を開始すべきでは。



市長 ①市として早期拡幅が望ましいと認識しており引き続き道路管理者の都に要望していく。
②小学校付近の玉川上水緑道については、本年3月に歩行者と自転車利用者に向けた注意喚起の看板を4か所に設置した。

市長 ①関係機関の認知度向上のため様々な会議等で周知に努める。本人等に対しては若者応援ガイドブックの市内中学校等への配付などで広報活動を行う。
②国が令和6年度にヤングケアラーを含む育児等に対し不安等を抱える家庭への訪問による家事支援事業創設を予定しており、必要な対応を検討していく。



小平第三小学校校門前付近の五日市街道



栄町地域の整備と活気ある地域づくりを/地域の防災力向上を
佐藤 徹議員
(市議会公明党)

質問 ①四季の小路公園の園路について、令和4年度は、栄町2丁目の園路部分の補修整備を西に向け進めるべきだが計画は。
②けやき通りは、栄町交差点南側のわだちとなっている箇所

質問 ①7月に小平第十二小学校で避難所運営マニュアルを基にした訓練が実施されたが、実地訓練を増やしていくべきでは。
②各避難所に、非常用蓄電池と簡易ソーラーパネルを早期に導入すべきと考えが見解は。



市長 ①これまで園路の東側から順次バリアフリー改修を行っている。引き続き整備済み箇所から西側に向けて進めていく。
②近年中に補修を要する路線と捉えている。引き続き路面状況等を注視し、補助金活用も視野に適切な時期を見極めていく。

市長 ①引き続き各地区の避難所開設準備委員会に訓練等の実施を促し、訓練や会議が開催される際は必要な支援をしていく。
②非常用電源の確保は重要と認識している。引き続き保管方法を勘案しながら研究し、自助による備えも啓発していく。



災害対策を進めよう/施設と設備のマネジメントを進めるべき
幸田昌之議員
(市議会公明党)

最新の防災施策を活用して市の災害対策をさらに進めよう

質問 ①障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行を受け、防災の観点から計画している対策は。
②電気事業者による停電情報の防災・防犯緊急メールマガジンへの連動を提案したが検討は。



市長 ①障害者が迅速かつ確実に情報を取得するために必要な施策を講ずる旨が規定された。障害の種類等に応じた情報発信手段を引き続き検討していく。
②自動連携には至っていないが、常に事業者と昼夜問わず連絡が取れる態勢は整えている。

質問 ①電気など生活インフラ設備の予保全への見解は。
②小平第十二小学校プールが設備の不具合で使用できなかったが、ほかにもプールが使用できなかった学校の数と授業対策は。
市長 ①全設備等の予保全は困難なため優先度が高い箇所から修繕等している。財政状況を踏まえ市民サービスへの影響を低減し計画的な修繕等に努める。
教育長 ②2校で通常の水泳授業ができなかった。小平第一小学校では民間プール使用を開始。学園東小学校も調整していく。



カーブミラーの設置基準の見直しを/新たな視点の健康増進等
津本裕子議員
(市議会公明党)

カーブミラーの設置基準は見直すべき

新たな視点を加えた健康増進、予防医療の取組を



質問 ①道路反射鏡設置基準のうち車道幅員の根拠は。
②設置希望者が管理組合等を組織し、一部費用を負担することにより設置基準に該当しない箇所への設置を可能にしては。
市長 ①10m未満の距離であれば鏡に映る自動車等を的確に確認できると考えるためである。
②基準に該当しない箇所へ設置する考えはない。相談があった場合は基準の根拠を説明し、最も基本的な安全確認等が何よりも重要であると理解してもらえよう丁寧説明していく。

質問 ①市の健康プロジェクトであるプロジェクトKの取組のうち、ウイズコロナでの取組の現状と課題は。
②健康都市の宣言を画餅にしないために、今後の取組は。
市長 ①昨年度は健康ポイント事業での動画視聴ポイント付与を目的に自宅で見られる簡単ストレッチ等の動画を作成した。再生数を伸ばすことが課題である。
②仮称第2次健康増進プラン策定を進めており、国や都の動向等を踏まえ市民の健康増進に寄与できる取組を検討していく。



小平駅北口地区第一種市街地再開発事業の状況について
鈴木洋一議員
(政和会)

小平駅北口地区第一種市街地再開発事業の状況について

交通事故防止のため道路反射鏡(カーブミラー)設置について



質問 ①現在の進捗状況は。
②6月と7月の近隣説明会ではどのような意見があったか。
市長 ①現在、再開発準備組合が事業計画案の策定を進めている。昨年度、整備する道路形状等が定まったことから、本年度住民説明会を開催するなど来年度の都市計画決定に向けて、より具体的な取組を進めている。
②準備組合が開催し延べ61人が参加した。災害時対応や周辺の渋滞等への質問のほか、駅前広場のバリアフリー化等の要望、事業への期待の声があった。

質問 ①小平市の設置基準は他市より厳しいと考えるが見解は。
②設置基準の見直しの検討は。
市長 ①私道を含めた延長35mを超える袋状道路への設置も可能としていることなどから、他市に比べて厳しい基準となっているという認識はない。
②現行の基準は一定の合理性を有していることから現時点で見直す考えはない。しかし、設置基準は必要に応じて適切な見直しを図る必要があると認識しており、引き続き交通環境や市民意識の変化等を注視していく。



西武新宿線の鉄道立体化実現を／誰もが働きやすい環境整備

西武新宿線の鉄道立体化実現に向けた具体的な取組を

質問 ①鉄道立体化実現に向けての市の役割は。

市長 ①協議会設置や基本構想策定等、具体的なアクションが必要と考えるが市の見解は。

市長 ①事業に関する情報の発信共有、関係機関等との連携、将来のまちづくりの検討や基本構想の策定、関連する市道の整備等がある。市民等の理解を深めてもらう取組が重要である。

②将来的には重要な取組の1つになるが、より一層の鉄道立体化等の認知度向上と取組の具体化が重要である。既に関心を



87の政策／東部地域に屋内プールを／小川駅と小平駅の再開発

市長は87の政策の通信簿についてどのように評価しているのか

質問 ①通信簿を評価した人は。②評価に当たっての基準は。

市長 ①私の確認団体が行った。②基準は承知していない。

東部地域に屋内プールのある体育施設の設置等の検討について

質問 東部公園プールは廃止し跡地に屋内プールのある民間体育施設を誘致できないか。

市長 誘致する考えはない。質問 ①小川駅西口再開発事業



持つ人には必要に応じた市職員の派遣など、事業の理解を深めてもらう取組を検討していく。

誰もが働きやすい環境整備のために

質問 ①直近の市内認可保育園の待機児童数と来年度以降の待機児童数の見込みは。

市長 ①本年4月1日現在3人で、来年度以降は一部を除き解消に向かう見込みである。

②機会を捉え大学や企業との情報交換に努め、状況に応じて有効な方法を研究していく。



の総事業費は。②中宿商店街のにぎわいが戻るといふ考えに変わりはなく。

③再開発ビルに残る店舗数は。④小平駅北口再開発では面積比3分の2の同意がないと組合設立できないが、どうするのか。

⑤駅前広場と道路整備に限定した区画整理事業に戻しては。市長 ①2百43億6千万円。

②人の流れが活性化するので、考えに変わりはない。

③26店舗中、10店舗が商業区画を取得する予定である。

④合意形成に努めると聞いた。⑤市では市街地再開発事業が最適な事業と認識しており、引き続き準備組合を支援していく。



障害者差別解消条例の制定を／補聴器購入費助成事業の実施を

障害者差別解消条例を制定せよ

質問 ①障害者差別解消法の改正により、障害者差別の解消はどの程度進むと考えているか。

市長 ①事業者への合理的配慮の提供の義務化や、障害を理由とする差別解消のための支援措置の強化が図られるため、今後、差別解消はさらに進んでいく。

②障害者差別解消法や都の障害者差別解消条例に基づき、障害者差別の解消等に努めていく。

市独自の条例制定は、国等の動向等を注視し研究していく。



女性活躍促進へ具体的支援策を／用水路の今後と管理、対策

女性活躍促進へ市長は公約どおり具体的支援策を執行すべき

質問 ①女性市長として、男女共同参画をより一層進めるとともに、課題を可視化し解決に努めるとの方針に変わりはなく。

②兵庫県豊岡市のように、女性がデジタルマーケティングの技術等を習得できるセミナーを、好きな時間に視聴できるオンデマンド方式で実施し、就労支援につながる取組ができないか。

市長 ①方針に変わりはなく。

②現在、東京都が女性向けデジタル・ビジネススキル習得支援事業を実施している。市としては情報提供等を行うとともに、



今こそ、補聴器購入費助成事業を実施すべき

質問 ①補聴器購入に伴う高齢世帯の経済的負担への見解は。

市長 ①機能等により価格が高くなる場合があるため、補聴器は高額と考える人も多く、購入しない理由の1つになっている。

②将来的な財源の確保などの課題もあることから、現時点では実施する予定はない。市民団体からの要望もあることから、引き続き、補聴器の使い方などについては講座等の開催などにより啓発に努めていく。



豊岡市の取組も研究していく。用水路の今後と管理、対策について

質問 ①用水路活用計画策定から28年が経過したが課題は。

②美園町1丁目28番付近の用水路北側については護岸工事が実施されたが、南側は未着手で、木製の旧護岸が腐食し崩れている。早急に改修すべきでは。

市長 ①持続可能な維持管理の方法や市民への効果的な広報などが用水路の課題と捉えている。

②当該箇所の一部は、令和元年度に護岸の補修工事を行っているが、再度、現地を確認して対応を検討していく。



食品ロス削減をもっと根づかせる取組を

食品ロス削減をもっと根づかせる取組を

質問 ①消費者教育や食育など食品ロス削減に向けた取組は、市役所全体で取り組むべきでは。

②飲食店や自治会など環境に関わる関係機関のネットワークで食品ロス削減を目指すために、

(仮称)小平市食品ロス削減推進会議を設置すべきが見解は。

③食品ロス削減に向けた効果的な取組を進めるために、食品ロス削減モニター調査を実施することが効果的と考えるが見解は。

市長 ①食品ロス削減は今後より重点的に取り組んでいかなければならない施策と認識している。



(仮称)文化スポーツ推進計画／市職員の懲戒処分について

(仮称)文化スポーツ推進計画策定で文化とスポーツの発展を

質問 ①文化とスポーツの振興に当たってこれまでの基本方針から推進計画に移行する意味は。

②検討の前提となる現状分析や市民意見の把握等の進め方は。

市長 ①これまでの二期にわたる方針で目指す方向性が定まっております。今後の施策推進に当たり、計画的な進捗管理体制の構築が必要と考え推進計画とした。

②各分野の課題分析等を行い、新型コロナウイルス感染症の影響など社会の変化等も踏まえ策定を進めている。また、18歳以上の市内在住者2千人にアンケートし、現状把握に努めている。



学校関係者、有識者等で構成される廃棄物減量等推進審議会において食品ロスについても議論しており、当該審議会を通して、今後より効果的な食品ロス削減施策を検討していく。

③調査協力者が食品ロス削減に関心が高い人に集中する懸念があることから、現時点では実施は考えていない。一方、当該調査は各家庭で発生する食品ロスの原因等を把握することができ、参加者の意識向上にもつながることから、他自治体の事例について引き続き研究していく。



小平市職員の懲戒処分について

質問 ①職員へのパワーハラスメントの言動等で健康福祉部主査が停職、管理責任者として適切な指導を行わなかったことなどから都市開発部参事が戒告となったが、処分への受け止めは。

市長 ①主査の言動等は職員職務規程に違反し、市民の市職員に対する信用を傷つけるものであり、大変重く受け止めている。

②責任はあると捉えている。今後起こらぬようハラスメントのない職場づくりに取り組む。



子どもたちの放課後の居場所／ワクチン再接種費用の助成を

子どもたちの放課後の居場所について

質問 ①市は民設民営児童クラブを増やすことに積極的なのか。

市長 ①民設民営児童クラブは、保護者からの様々な要望を検討して誘致したものであり、今後の増設についても、保護者のニーズを踏まえて判断していく。

②放課後子ども教室は、地域の人材が担い手となって創意工夫により実施してもらう取組となっている。引き続き各小学校のよい取組などについて情報共有を図り、充実に努めていく。

質問 ①令和2年3月定例会で、国に対し骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要となった者への接種費用を助成する制度の創設を求める意見書が可決された後、国等に働きかけをしたか。

市長 ①東京都市長会を通じて東京都に対し、病氣治療による再接種の定期予防接種化を国に働きかけるよう要望している。



②ワクチンによっては再接種に適さないものがあるため小平市医師会等に確認する必要があるほか、実務上の課題もある。



骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要な方への助成制度を

質問 ①令和2年3月定例会で、国に対し骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要となった者への接種費用を助成する制度の創設を求める意見書が可決された後、国等に働きかけをしたか。

市長 ①東京都市長会を通じて東京都に対し、病氣治療による再接種の定期予防接種化を国に働きかけるよう要望している。

②ワクチンによっては再接種に適さないものがあるため小平市医師会等に確認する必要があるほか、実務上の課題もある。



放課後子ども教室の様子 (小平第一小学校地区、小平第三小学校地区)



東部地域の地域課題等について／核兵器のない平和な世界へ
きせ恵美子議員
(日本共産党小平市議団)



東部地域の地域課題等について

質問 ①喜平橋南東角のマシヨ
ン西側の歩道は狭く危険では。
②武蔵野団地における道路改
良工事の進捗状況と完了予定は。

市長 ①東京都施行の歩道幅
を含む交差点の改良事業が進め
られており、用地取得が難航し
ているため改良工事に着手でき
ないと都から聞いている。引き
続き、早期の用地取得と工事の
実施について都へ要望していく。

②雨水排水能力の向上や、有
効幅員の確保などを目的として、
平成23年度から整備を進めてお
り、令和3年度までに約90%が
整備され、令和4年度中に完了
する見込みである。

今こそ核兵器のない
平和な世界へ

質問 ①広島、長崎での平和宣
言についての見解は。

市長 ①核兵器廃絶と世界の恒
久平和の実現に向け、思いを同
じくする世界の人々と共に力を
尽くすことを誓った力強い宣言
であったと認識している。

②貴重な機会となるので、非
核平和都市を宣言している自治
体として、今後の取組の参考と
なるよう情報収集に努めていく。



困難を抱える人の就労／市民
自治で暮らしやすいまちづくりを
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)

困難を抱える人の
就労支援について

質問 ①障害者就労・生活支援
センターほつととの連携は。
②短時間なら働ける障害のある
人等への庁内での雇用創出は。
③児童発達支援センターでの
就労を見据えた進路相談等は。

市長 ①就労前は市役所で実習
による訓練、就労後は就労企業
への訪問等の支援を行っている。
②会計年度任用職員として就
労の可能性を探っていく。
③相談があった場合は学校や
障害者就労・生活支援センター
ほつと等と連携し対応していく。

④生活困窮者への就労支援は。

質問 ①生活相談支援センター支援
員がハローワークと連携し職業
紹介等している。直ちに就労を
目指すことが難しい人には社会
能力形成を促す支援等している。
市民自治でさらに
暮らしやすいまちづくりを

質問 小平市自治基本条例制定
後、参加と協働を推進してきた
成果と課題は。

市長 参加の成果は考え方が浸透
してきたこと、課題は市民
参加の裾野を広げることである。
協働の成果は市民活動団体等の
自立的な地域課題への関わり等
が可能になったこと、課題は広
がりが見られないことである。



市民菜園開設を／特別支援学級
通学バス／学習端末の修理対応
外山まなみ議員
(政和会)



市民菜園を
開設するため

質問 ①閉園となる市民菜園利
用者30人への新たな菜園確保は。
②補助対象事業として市民農
園整備を位置づけるべきでは。

市長 ①確保は難しい。
②今後、JA東京むさしと連
携し農家の意向を聞きながら、
必要に応じて検討していく。

特別支援学級通学バスの
運行の在り方について

質問 ①通学バス運行事業の在
り方について検討状況は。
②バスの定員75人に対し、令
和3年は対象児童が36人だった

が、空席に乘車はできないのか。
③バスのストップ乗車の運行モ
デルを実施できないか。

教育長 ①乗降場所等について
委託事業者と相談等をしている。
②児童の実態に応じ一部柔軟
な対応もしているが、対象は原
則3年生修了時までとしている。
③保護者や関係者の協力が必
要になるため慎重に検討する。

配付された学習端末の
修理対応について

質問 持ち帰り時の故障等の保
険加入等を支援できないか。

教育長 保険商品は多岐にわた
り、保険料は最も安価でも年間
約2千万円となるため難しい。



ペットと一緒に住みやすいまちへ／
よりよい学校生活に向けて
吉本ゆうすけ議員
(フォーラム小平)

ペットと一緒に
住みやすいまちへ

質問 ①令和元年6月定例会の
一般質問で、狂犬病予防注射の
接種数と注射済票の交付件数は
減少傾向が認められたが、その
後の動向は。

市長 ①令和元年度5千7百22
件、2年度5千6百50件、3年
度5千8百12件で一時的な微減
にとどまり、多くの飼い主には
予防注射の必要性を十分認識し
てもらっていると捉えている。
②令和2年度からは、市内11

か所となっている。
よりよい学校生活に向けて

質問 ①上半身裸や衣服をまく
る形で健康診断を行っている小
中学校で、児童・生徒から相談
等があった際の対応は。

②スクール水着やラッシュガ
ードの指定要件緩和の見解は。

教育長 ①健康診断時の脱衣に
ついて数件の相談が寄せられて
おり、各学校において相談内容
に応じた個別の対応をしている。
②各学校で児童・生徒の実態
等に応じて要件が設定されてい
ることから、教育委員会として
要件緩和を指示する考えはない。



鈴木遺跡の魅力発信／物価高騰の
影響著しい農業資材等の対策
岡田しんべい議員
(フォーラム小平)



鈴木遺跡の魅力
をもっと発信しよう

質問 ①小平市立小・中学校で、
鈴木遺跡を取り扱った授業等は
実施されているか。

②鈴木遺跡を今後のまちづく
りにどう活用していく予定か。

教育長 ①小・中学校の社会科
において、市作成の副読本を参
照しながら鈴木遺跡を扱った学
習を進めるなどしている。

市長 ②令和4年度策定に向け
取り組んでいる国史跡鈴木遺跡
保存活用計画の中で、地元自治
会や地域関係者との情報共有や
連携協力を図り、地域と行政が
一体となった史跡の保存活用を
化も含めた資源化に努めていく。

物価高騰の影響が著しい農業
資材等について今後の対策は

質問 ①市として物価高騰への
対策として検討していることは。
②学校給食の食物残渣を利用
した堆肥化事業については、これ
までの実績と今後の展開は。

市長 ①令和4年7月から農業
生産資材費高騰臨時対策補助金
を創設した。その中で肥料の高
騰対策として肥料購入費の30%、
10万円を上限に補助している。
②令和3年度実績は約17トとな
っており、今後も引き続き学
校給食の食物残渣を利用し堆肥
化も含めた資源化に努めていく。



事実に対する答弁を許すのか／
東京サレジオ学園北側の開発等
安竹洋平議員
(一人会派の会)

いじめ重大事態に関しての
事実に対する答弁について

質問 市や教育委員会の答弁が
事実と反することが明らかにな
り、その後、議会で訂正がされ
ないケースは内部統制の対象か。
市長 地方自治法上の内部統制
制度の取組ではないが、総合的
にリスク管理を行う仕組み構築
に向け、事務処理におけるリス
ク対応として本年8月から試行
運用を開始した。市の財政運
営や行政サービスに支障が生じ
市民の信頼を損ねることにつな
がりかねないリスク全般を対象
とし、議会答弁の誤りも1つの
リスクと考えられる。誠実で問

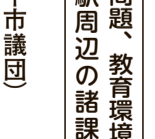
東京サレジオ学園北側の
大規模開発について

質問 事業主の責務について、
どうすれば、市民と共にまちづ
くりを行ったことになるか。

市長 事業主と周辺住民が相手
の立場を尊重し譲り合いの精神
で自主的に協議することや、地
域にまちづくりの課題がある場
合、課題解決のため相互に建築
協定等の検討をすることである。
【掲載分以外の質問項目】
○第四小学校に設置する自閉症
情緒障害特別支援学級に関し特
に全学年で通学バスを 外2件



教育現場の国葬問題、教育環境の
充実／鷹の台駅周辺の諸課題
鈴木だいち議員
(日本共産党小平市議団)



教育現場における国葬
問題と教育環境の充実

質問 ①9月27日の国葬で教育
委員会として半旗掲揚の通知を
学校へ送らないこと、学校や教
職員に対し申意の表明を強制し
ないことを求めるが見解は。

②老朽化等のために使用でき
ないプールが市立小・中学校で
何校あるのか。

③教室のエアコンが経年劣化
のため効きが悪くなっている事
例の発生件数は。

教育長 ①学校への対応につい
て、現段階では教育委員会とし
て特段の対応は考えていない。
②現時点では小学校で3校、

鷹の台公園と鷹の台駅周辺
地域の諸課題について

質問 鷹の台駅改札前における
10メートルの段差と傾斜の解
消を望む声が視覚障害のある人
や車椅子を利用している人から
上がっているが、バリアフリー
化に向けた検討状況は。

市長 既存の道路の高さを上げ、
改札前の傾斜を緩めることで、
可能な限り段差と傾斜の改善を
図る予定である。年内の完了を
目指している。



鷹の台駅改札前の段差と傾斜



学校での児童・生徒のマスク着用／中央エリアのインフラ整備
山浦まゆみ議員
(生活者ネットワーク)

学校生活における児童・生徒のマスク着用について

質問 ①マスクを外すよう指導しても着用を続ける児童・生徒の反応を、どう捉えているか。
②意図的に全員でマスクを外す時間をつくるよう試みている学校がある自治体もあるが、そうした取組の検討状況は。

中央エリアは市民活動を停滞させない整備のために創意工夫を

質問 中央公民館等にあるホールの実数が減る可能性があり、市民活動への支障を心配する声があるが、補完するアイデアは。

市長 寄せられた意見や過去の稼働率からホールの利用には高いニーズがある。必要な数等の精査は今後の検討になるが、市民活動になるべく支障が出ない範囲で集約化等を検討していく。



通学路の安全性を確保するためにできることを
水口かずえ議員
(まちづくり市民こだいら)

通学路の安全性を確保するためにできることを

質問 ①文部科学省からの通学路における合同点検の実施についての依頼に対し、安全対策が必要と報告した箇所数は。
②合同点検実施における対策必要箇所等について、市ホームページで公表する予定はあるか。
③過去に子どもの負傷事故が発生した十小通りの対策は。

旧統一教会(協会)と関連団体と市との関わりについて

質問 ①市として旧統一教会(協会)及び関連団体と一切の関係を持たないようにすべきでは。
②旧統一教会(協会)及び関連団体の集会やイベントにおける市との関わりを調査し、後援名義使用などについては取消しを行うべきだが見解は。

旧統一教会(協会)と関連団体と市との関わりについて

質問 ①市として旧統一教会(協会)及び関連団体と一切の関係を持たないようにすべきでは。
②旧統一教会(協会)及び関連団体の集会やイベントにおける市との関わりを調査し、後援名義使用などについては取消しを行うべきだが見解は。



小平市を災害に強いまちにしよう／若年性認知症への対応
比留間洋一議員
(政和会)

小平市を災害に強いまちにしよう

質問 ①武蔵公園の整備に当たり、いつとき避難場所に準ずる対応ができるように、市民からのトイレ等の設置要望はあるか。
②市が考える、市民が避難する場所として必要な条件は何か。

若年性認知症への対応

市長 ①整備検討に向けた取組の中では、災害用トイレや照明など防災への配慮に関する要望等ももっている。なお、いつとき避難場所に指定するために、トイレを設置する要件はない。
②大地震時に発生する延焼火災等から、避難者の生命を保護するために必要な面積を有する市にある家族会を案内している。

市長 ①整備検討に向けた取組の中では、災害用トイレや照明など防災への配慮に関する要望等ももっている。なお、いつとき避難場所に指定するために、トイレを設置する要件はない。
②大地震時に発生する延焼火災等から、避難者の生命を保護するために必要な面積を有する市にある家族会を案内している。



旧統一教会(協会)と関連団体と市との関わりについて
細金正議員
(日本共産党小平市議団)

旧統一教会(協会)と関連団体と市との関わりについて

質問 ①市として旧統一教会(協会)及び関連団体と一切の関係を持たないようにすべきでは。
②旧統一教会(協会)及び関連団体の集会やイベントにおける市との関わりを調査し、後援名義使用などについては取消しを行うべきだが見解は。

新型コロナウイルス感染症第7波から市民の命を守る施策を

質問 市としてPCR検査等に要するキットの購入、備蓄を検討すべきと考えるが見解は。
市長 現時点では検査キットを購入または備蓄する予定はないが、東京都から希望する市町村に対して抗原定性検査キットを無料で配付する旨の連絡があり、今後活用できるか検討していく。

市内グラウンドの人工芝化実現と野球専用グラウンドの整備を

質問 ①小川西グラウンドの人工芝化は、凍結の認識でよいのか。
②小川西グラウンドを人工芝化したときの全体の予算額は。
③各種スポーツ団体代表と市担当部局を交えた(仮称)人工芝化連絡協議会設立への見解は。
市長 ①コロナ禍で今後財政状況が厳しくなることから、一般財源確保策として一時中断した。
②元年度時点で基本設計約7百万円、実施設計約9百万円、工事費約2億6千4百万円の約2億8千万円を見込んでいた。
③現時点では設置する予定はないが、今後、人工芝化を進めていく際には、利用者の声を聞く必要があると考えている。



市内グラウンドの人工芝化実現と野球専用グラウンドの整備を
福室英俊議員
(政和会)

市内グラウンドの人工芝化実現と野球専用グラウンドの整備を

質問 ①小川西グラウンドの人工芝化は、凍結の認識でよいのか。
②小川西グラウンドを人工芝化したときの全体の予算額は。
③各種スポーツ団体代表と市担当部局を交えた(仮称)人工芝化連絡協議会設立への見解は。

市内での経済活動を活性化させるために

質問 市内飲食店で同窓会を開催する際に補助金を支給し、市内の消費喚起につなげる(仮称)ふるさと同窓会支援事業補助金を創設すべきだが、見解は。
市長 現在は考えていない。キャッシュレス決済へのポイント付与キャンペーンなど市内飲食店等での消費喚起を図っていく。
【掲載分以外の質問項目】
○年末年始の市民からの問合せにこたえるために

市長 現在は考えていない。キャッシュレス決済へのポイント付与キャンペーンなど市内飲食店等での消費喚起を図っていく。
【掲載分以外の質問項目】
○年末年始の市民からの問合せにこたえるために



人工芝化を一時中断した小川西グラウンド

市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会 調査状況

令和4年3月29日に設置されて以来、付議事項について調査を行ってきました。経過の概要は次のとおりです(令和4年10月18日時点)。
○調査事項 「まなびの森保育園花小金井」が公募時の提案に比べ、開園時に大幅に園庭面積を縮小したことに関する事項
○開催日 令和4年3月29日(令和4年10月6日(計12回))
○これまでの主な内容
・小平市、東京都及び事業者に対する記録の提出請求、並びに提出された記録及び資料の調査
・小平市説明員に対する質疑
・参考人招致の決定及び実施 外

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体に挨拶状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。
ます。具体例は次のとおりです。
○お中元やお歳暮
○秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典
○葬式の花輪や供花
○落成式、開店祝いの花輪やお祝い
市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

議会図書室を一般公開しています

小平市議会では、議員だけでなく、市民の皆様にもご利用いただけるよう議会図書室を一般公開しています。
利用時間:午前8時30分から午後5時まで(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く)
利用方法:市役所7階の議会事務局にお越しください。
配架図書:市議会会議録、地方自治や地方議会に関する図書など(室内でのみ閲覧できます。貸出しはできません。)

請願・陳情

9月定例会では、請願3件を新たに受理し、3件を採択しました。陳情は3件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

回田町の開発に伴い、安全な生活道路等の確保を小平市が主体的に実現することを求めることについて

現在、回田町184-1ほかの開発行為の影響で、回田町179-1北側29世帯中23世帯の児童・生徒の安全な通学路が確保されておらず、当該地の住民は非常に困惑しています。既存の通学路として指定されている五日市街道の当該地付近では既に今年2月、交通事故も発生しており、児童・生徒が常に危険にさらされている状況であり、一刻も早く改善する必要があります。

補聴器購入助成により加齢性難聴者への聞こえの支援を求めることについて

高齢者の聞こえに関する悩みは深刻です。家族や周りの人々とのコミュニケーションが取り難く誤解や孤立を招くこともあります。難聴は認知症の悪化を進行させるとの指摘もあります。これら問題解決のためには気軽に相談できる窓口があり、専門的な診断が必要であり、補聴器をできるだけ早めに使用することが効果的と言われています。しかし、補聴器は数万円から数十万円と非常に高価で多くの高齢者にとって必要性が高いにもかかわらず入手が困難な器具となっており、全国的な自治体では様々な取組

放課後等デイサービス事業所への支援を求めることについて

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定では、放課後等デイサービスの場合、重症心身障害児対象の事業所は条件が改善されましたが、その他の事業所については厳しい改定となりました。令和3年度に続いて令和4年度も大幅な赤字を見込んでいて、運営の継続が困難な事業所もあります。それは、基本報酬が下がったほか、専門的支援加算が取得しにくいことなどためです。また従来より、中規模の事業所は、小規模の事業所より報酬が低く設定されていますので、中規模の事業所の赤字が膨らむ傾向があるためです。

小平市議会においては令和3年に、東京都への意見書(議員提出議案第42号)、国への意見書(議員提出議案第45号)、市に支援策を求める決議(議員提出議案第50号)が可決されました。市に支援策を求める決議にある「放課後等デイサービス等において、報酬改定でこれまでの報酬からマイナスになる事業者に、様々な支援策を講じる」との具体化を一層図ることが求められます。

市民と議会の意見交換会を4会場で開催します

今回は、9月定例会の報告を行ったのち、各常任委員会の政策課題などをテーマに、市民の皆様と意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

新たな公共交通のあり方について
日時：10月30日(日) 午後2時～
場所：鈴木地域センター 第一・第二集会室
担当：環境建設委員会班

自主財源確保の取組について
日時：11月6日(日) 午前10時～
場所：美園地域センター 第一・第二集会室
担当：総務委員会班

こだいら子ども未来会議を設置しよう～型やぶりな小平市の子育て～
日時：11月6日(日) 午後2時～
場所：東部市民センター集会室
担当：厚生委員会班

市民の自治会参加推進について
日時：11月12日(土) 午後7時～
場所：学園西町地域センター 第一・第二集会室
担当：生活文教委員会班

対象 小平市民、小平市政に関心のある方
費用 無料
定員 各会場35人
申込み 当日、会場へ(事前申込み不要、先着順)
問合せ 議会事務局 ☎042(346)9566

- ※1 各会場、時間はおおむね2時間程度を予定しています。6人から7人程度の議員が担当します。
- ※2 磁気ループ設置、手話通訳あります(事前申込み不要)。
- ※3 詳細は市議会ホームページをご覧ください。



市議会ホームページ
小平市議会のページには様々な機能があります。ぜひご利用ください。
○**議会中継**
本会議の様子をインターネットで録画配信しています。録画映像は会議日の3日後から配信を開始し、次の定例会の前日までの間、ご覧いただけます。
○**会議録検索システム**
本会議や委員会での発言は会議録に記録されます。会議録検索システムでは、キーワードなどから会議録を検索することができます。

あとがき
9月定例会では一般会計補正予算(第4号)など、様々な議案等について活発な議論が交わされました。今後も、より分かりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地
☎042(346)9566
FAX 042(346)9567

議会日誌

7月22日～10月18日
本会議、委員会、諸会議など

7月	22日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	26日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会多摩地域都市モノレール等建設促進協議会	27日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会													
8月	8日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	9日 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会	10日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	17日 東京都議会議員及び日野市議会議員視察来庁(小平市の学校給食への地場野菜利用向上の取組と農業振興の取組について)	19日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	22日 総務委員会	23日 生活文教委員会	24日 厚生委員会	25日 環境建設委員会(埼玉県行田市視察あり)	26日 幹事長会議 議会運営委員会(臨時)							
9月	30日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	1日 議会運営委員会	6日 9月定例会初日 幹事長会議(臨時) 議会運営委員会(臨時)	7日 9月定例会2日目(一般質問)	8日 9月定例会3日目(一般質問)	9日 9月定例会4日目(一般質問)	12日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	13日 総務委員会 幹事長会議(臨時) 議会運営委員会(臨時)	14日 生活文教委員会	15日 厚生委員会	16日 環境建設委員会(市内視察あり)	20日 広聴広報特別委員会	21日 スマートシティ小平推進調査特別委員会(市内視察あり)	22日 まちづくり調査特別委員会	26日 幹事長会議	27日 議会運営委員会	30日 9月定例会最終日 幹事長会議(臨時) 議会運営委員会(臨時) 総務委員会(臨時) 広聴広報特別委員会
10月	6日 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会	11日 一般会計決算特別委員会(13日まで)	14日 特別会計・下水道事業会計決算特別委員会	18日 広聴広報特別委員会													